準グランプリ

「身支度」

杉山康介（静岡デザイン専門学校）

【作品コンセプト】

身支度を静岡の象徴「富士山」に比喩し、故郷の静岡へと帰る様子を表現しました。青と白の衣類を畳んで重ね、富士山の形に。スーツケースの上に乗せることで、身支度の様子を分かりやすくし、また電球色の下で撮影することで、故郷の温かみを出しました。身支度をして静岡へ帰るこの広告を見て、「私も帰ろうかな」と思ってくれるような作品を目指しました。

準グランプリ

「帰っておいで! 一緒に作ろう。」

宮崎雄太（常葉大学）

【作品コンセプト】

静岡に帰る理由を「県外で得た知識やスキルを未来の静岡づくりに生かすため」という前向きなものにして、自分の手で作っていく楽しさを静岡の誇る産業の一つであるプラモデルで表現しました。県外の方に静岡に帰って来てもらうには、ただ静岡の良さを伝えてその静岡を助けるために帰って来てほしいと呼びかけるだけではなく、県外からの人や意見を受け入れ、より良い静岡を「一緒に作ろう」という、共に未来を目指す姿勢が大切だと思います。